

第3回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナー 栃木大会 開催要項

テーマ「フォスタリング機関と子どもの居場所に求められる役割とは」

1 セミナーのねらい

今春、こども家庭庁がスタートし、まさに、こどもがまんなかの社会を実現するために動き出したところです。

家庭養育原則の理念の下、児童養護施設や乳児院などの社会的養護関係施設では、365日24時間体制で子どもを養育している機能と養育を通して培ってきたノウハウを地域子育て支援に還元していくことが求められます。そのためにも、児童家庭支援センターやフォスタリング機関を付置するなど多機能化を推進し、地域支援や里親養育支援に積極的に取り組む必要があります。一方、基礎自治体にあっては、自らの子育て支援機能を強化するためにも、児童家庭支援センターなど社会的養護関係施設や里親・ファミリーホームなどの社会的養護分野と積極的に連携していくことが必要となっています。

こうした情勢を踏まえれば、児童家庭支援センターやフォスタリング機関の相談員・心理職員、基礎自治体や児童相談所のケースワーカー、社会的養護施設所属の家庭支援専門相談員や里親支援専門相談員、里親やファミリーホーム養育者等、地域子育て支援の一翼として活動されている方々、更には支援を受ける側にあった者が一堂に会し、ともに学び連携を深める場が求められます。

今回のセミナーは、「フォスタリング機関と子どもの居場所に求められる役割とは」をテーマに開催します。里親等委託推進のために各地で立ち上がるフォスタリング機関ですが、運営方法も様々ですしその効果も未知数の段階です。現状で見えてきた課題を明らかとするとともに求められる役割について検討したいと思います。また、子どもの居場所も各地に様々な形で立ち上がってきています。子どもの居場所は栃木県が先駆的に実施してきた事業です。その成果を示すとともに現状の課題と求められる姿についても検討したいと思います。

最後に、このセミナーが、各々の地域コミュニティにおいて子育て支援に携わる者同士をつなぐネットワーク構築の一助となることを期待します。

- 2 主催 全国子ども家庭養育支援研究会
- 3 後援 こども家庭庁 栃木県 宇都宮市
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
公益財団法人 全国里親会
一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会
全国児童家庭支援センター協議会
- 4 協力 一般社団法人とちぎ家庭養育推進協議会
栃木県児童養護施設等連絡協議会
栃木県子どもの居場所連絡協議会
- 5 開催日 令和5年9月6日(水)

6 開催地 栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市本町1-8）

7 参加対象者 里親、ファミリーホーム養育者、児童家庭支援センター・フォスタリング機関の相談員・心理職員、子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点の支援員、里親支援専門相談員・家庭支援専門相談員等、児童相談所児童福祉司・里親委託推進員・要保護児童対策協議会関係者等

8 参加費 1,000円 ※当日会場にて徴収します。

9 定員 120名

日 程 表

9:30	受付開始	
10:00	開会式	開会の言葉 主催者挨拶 相澤仁 会長 来賓挨拶 栃木県 宇都宮市 来賓紹介 資生堂子ども財団
10:30	行政説明・講義	胡内敦司 こども家庭庁 支援局家庭福祉課企画調整官
11:00	基調講演	「フォスタリング機関の現状とこれから（仮題）」 講師 上鹿渡和宏 早稲田大学教授
12:00~13:00	昼食休憩	
13:00	シンポジウム パネラー	「フォスタリング機関に求められるもの」 河内美舟 全国里親会会長 北川聡子 日本ファミリーホーム協議会会長 湯澤典子 栃木フォスタリングセンター統括責任者
	コーディネーター 助言者	橋本達昌 全国児童家庭支援センター協議会会長 長縄良樹 岐阜県フォスタリング機関運営責任者
14:30~14:40	休憩	
14:40	講義	「子どもの居場所に求められる姿」 講師 畠山由美 栃木県子どもの居場所連絡協議会会長
15:00	シンポジウム パネラー	「家庭養育推進と子どもの権利擁護」 ケアラー3名（里親、FH、居場所） 養育者2名（里親・FH、居場所）
	コーディネーター 助言者	福田雅章 鈴木秀洋 日本大学教授
16:40	閉会式	閉会の挨拶 福田実行委員長 次期開催県挨拶 河内美舟 山口県代表
16:50	解散	

10 申込方法等 別紙参加申込書を8月10日（木）迄に、下記宛先まで
E-mailにて送信ください。

E-mail 宛先 ⇒ 栃木フォスタリングセンター
(tfc2021@circus.ocn.ne.jp 担当：湯澤 岩瀬)

※本セミナーは、公益財団法人 資生堂子ども財団様の助成を得て実施します。